



T O K Y O R O P P O N G I R O T A R Y C L U B

東京六本木ロータリークラブ



『ロータリーは分かちあいの心』

～Rotary Shares～
国際ロータリークラブ会長

発行日 2007年10月15日

No. 11

『一歩一歩進もう』

～Let's Move Forward Step by Step～
東京六本木ロータリークラブ会長

W E E K L Y R E P O R T



平成19年9月10日
卓話 『今年江戸城築城550年』
医療法人医親会 理事長
太田道灌公墓前祭実行委員長
太田 資暁 様



太田資暁と申します。よろしくお願ひします。
太田道灌が亡くなって今年で521年です。毎年法要をやっております、521回忌を7月にやりました。私は18代目で江戸時代以降の系図はしっかりしているんですけども、道灌は徳川家康から150年前の人で戦国時代は何も残っていないので、そこら辺の系図はよく分かりません。18代ということで日本全国たくさん太田一族おられまして、今年も40～50人集りました。

道灌が江戸に城を作った時は蘆と荻が生い茂った全くの原野でした。その時、道灌は上野や品川の台地だとか川崎の夢見ヶ崎だとか、いろんな候補地の中から江戸を選んだわけです。江戸城の縄張りをしている時に近くの百姓に村の名前を聞いたら千代田村ですということで、道灌は「誠に吉兆の名前である。この城の繁栄疑い無し」と語ったといわれております。事実この城は一度も落城したことのない運の強い城で、皆様ご存知の慶応4年、官軍の江戸攻めするときも勝海舟と西郷隆盛の会談で無血開城して無事に乗り切ったわけでございます。

道灌の太田家は上杉氏の一つであった、扇が谷上杉の家老です。道灌は30数度戦って一度も負けたことがない大変な名将でした。和歌はうまいわ城を作るのがうまいわ、京都から文化人がどんどん流れてくるわで有名になってしまって、上司である上杉は面白くないわけですね。讒言があって、新築祝いと称して道灌を呼んで殺してしまします。上司のために一所懸命働いて、その上司に討たれるという悲劇ですね。後の江戸市民は大変判官鼻根ですから愛されまして、いろいろな有名な話ができたわけでございます。

道灌と北条早雲は同じ歳です。2人は一度会っ

ておりまして、静岡の今川家の内紛を2人で収めております。道灌が死ぬのは55歳、早雲が死ぬのは88歳。その33年の間に早雲は関東に出て関東を手中に収めたわけです。道灌は若いときから大変有名だったんですが、早雲は前半生がはっきりしません。突然歴史の舞台に現れて世を治めるんですけども、梟雄とかいわれた。前半は道灌が活躍して後半は早雲が活躍しますので、大河ドラマにしたら面白い時代絵巻ができると思います。

関東には道灌に因むお寺や神社がたくさんあって有名なのは江戸城の中の日枝神社。銅像も伊勢原市、岩槻市、都庁そばの中央公園、川越市役所前、都庁前など9つあります。山吹の伝説も各地に残っておりまして、新宿区などは山吹町という町名までございます。平河門のそばに太田道灌追慕の碑がござります。大変黒くて読めないし木が覆いかぶさっておりますので皆通り過ぎてしまうんですが、小竹さんがその碑文を読んだら大変立派であった。これを洗って、そばに札を立てて、みんなにアピールしようと考えていただいたわけでございます。

江戸城築城550年にあたってということで9月25日に除幕式を行います。歴史は俯瞰することも大事ですけど、歴史の中の一人の人物に光をあててみると、人間の持つ業だとか権力欲、名誉欲だとかが今の時代も全く変わっていないことがわかって、我々は歴史から学ぶ必要があると考えております。

ご静聴ありがとうございました。

